

# I . 調査の概要



## 1 調査目的

---

この調査は、区政の課題について、区民の意識や意向を統計的にとらえ、今後の区政運営の基礎資料とするものである。

## 2 調査テーマ・内容

---

### (1) 区の施策および評価について

- ・居住性の評価や定住意向
- ・区への愛着、誇り
- ・施策の満足度と必要性
- ・施策への要望
- ・区政情報の入手
- ・ねりま区報
- ・ねりまほっとライン
- ・区ホームページ
- ・新型コロナウイルス感染症情報の入手経路
- ・新型コロナウイルス感染症に対する不安
- ・影響が及ぶ前と比べての精神的・身体的な変化
- ・新型コロナウイルス感染症対策
- ・影響が及ぶ前と比べての日常生活の変化
- ・日常生活の新しい生活様式

### 3 調査設計

- (1) 調査地域 …………… 練馬区内全域
- (2) 調査対象 …………… 練馬区在住の満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 …………… 3,000サンプル
- (4) 対象者抽出方法 …… 層化二段無作為抽出法
- ①層化 …………… 郵便番号に基づき、練馬区内を「5 地区区分（5 ページ）」に示すように4地区に区分し、それぞれを層とした。
- ②標本数の配分 …………… 各層における満20歳以上の人口数（令和2年10月1日現在）により、「6 地区区分別回収状況（6 ページ）」に示すように3,000の標本数を配分した。
- ③地点抽出 …………… 調査地点の抽出数は、1調査地点の標本数が10になるように、各層に配分された標本数より算出し、決定した。  
調査地点の決定については、層ごとに、
- $$\frac{\text{層における人口数}}{\text{層で決定された調査地点数}} = \text{抽出間隔}$$
- を算出し、等間隔抽出法によって、対象者抽出のための各調査地点の起算番号を算出した。
- ④対象者抽出 …………… 練馬区住民基本台帳に基づき、各調査地点の起算番号目に出現する人を第1番目の抽出対象とし、以下各調査地点において一定の抽出間隔で10人に達するまで系統的に抽出し、計3,000サンプルを抽出した。
- (5) 調査方法 …………… 郵送法（郵送配布・郵送回収）
- (6) 調査期間 …………… 令和2年11月2日（月）～11月25日（水）
- (7) 調査機関 …………… 株式会社 総合企画

### 4 回収状況

	成人人口※	標本数	有効回収数	有効回収率
全 体	621,146	3,000	1,332	44.4%

※令和2年10月1日現在

<参考> 令和元年度回収状況 ※調査設計は令和2年度と同じである。

	成人人口※	標本数	有効回収数	有効回収率
全 体	616,987	3,000	1,089	36.3%

※令和元年8月1日現在

## 5 地区区分



表1 地区区分一覧

区 分	町 名
I 地区 (〒176)	練馬、桜台、羽沢、小竹町、旭丘、栄町、豊玉上、豊玉北、 豊玉中、豊玉南、貫井、向山、中村北、中村、中村南
II 地区 (〒177)	三原台、谷原、高野台、富士見台、南田中、石神井町、 下石神井、上石神井南町、上石神井、石神井台、関町北、 関町東、関町南、立野町
III 地区 (〒178)	大泉学園町、大泉町、東大泉、南大泉、西大泉、西大泉町
IV 地区 (〒179)	旭町、光が丘、田柄、春日町、高松、土支田、北町、錦、 平和台、氷川台、早宮

## 6 地区区分別回収状況

	成人人口	標本数	有効回収数	有効回収率
全 体	621,146	3,000	1,332	44.4%
I 地区 (〒176)	152,900	743	302	40.6%
II 地区 (〒177)	178,880	854	390	45.7%
III 地区 (〒178)	116,183	532	243	45.7%
IV 地区 (〒179)	173,183	871	369	42.4%
(地区無回答)	-	-	28	-

## 7 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは、その質問への回答者総数のことである。
- (2) 回答は、回答者総数を100%として算出し、小数点第2位を四捨五入している。  
このため、回答率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の質問では、回答率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) フェイスシート（一部質問）として、次の11項目をとりあげた。巻末集計表には、このうち8項目とのクロス集計結果を掲載してある。

①地区別	②性別	③年齢別	④性・年齢別
⑤職業別	⑥ライフステージ別	⑦家族構成別	⑧家族人数別
⑨住居形態別	⑩住居所有形態別	⑪通勤・通学場所別	

- (5) 図表中、スペースの都合上、回答選択肢を短縮している場合がある。
- (6) フェイスシートの項目別や質問項目別に分析する場合、分析の都合に応じて、複数のカテゴリー（回答選択肢）を1つにまとめたり、あるカテゴリーを削除するなどの加工をしている場合がある。1つにまとめた場合に、それぞれの比率の合計と合わせた比率が異なる場合があるが、これは四捨五入による差異である。
- (7) 各設問の説明では、基数（n）が30に満たない項目は除いて比較している。
- (8) 巻末集計表では、属性部分から無回答を除いているため、該当者の合計が総数とならない場合がある。

## 8 標本誤差について

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、誤差を数学的に計算することが可能である。

今回の調査の回答結果から、母集団（練馬区在住の満20歳以上の男女）全体の比率を推定するため、層化二段無作為抽出法の場合の標本誤差の＜算出式＞と＜早見表＞を示した。

標本誤差および＜標本誤差早見表＞は、以下のように使用する。

例えば、問2の「あなたは、練馬区の住みごちをどう思いますか」という質問に対して、「まあ住みよい」と答えた人は1,332人のうち55.1%であった。回答者数が1,332人、回答率が50%前後のときの標本誤差は、＜標本誤差早見表＞では±3.87%であるから、「まあ住みよい」と考えている人は、練馬区在住の満20歳以上の男女全体（母集団）の51.23%から58.97%の間にあると推定できる。ただし信頼度は95%であるので、この推定は95%の確率で正しいといえることになる。

<標本誤差算出式> (信頼度 : 95%)

$$b = 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

$b$  = 標本誤差       $N$  = 母集団 (練馬区全体)  
 $n$  = 回答者数       $P$  = 回答の比率 ( $0 \leq P \leq 1$ )

<標本誤差早見表> (信頼度 : 95%)

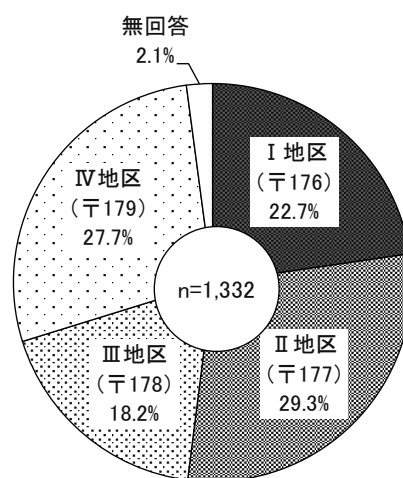
回答比率(P) 回答者数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,332	± 2.32	± 3.10	± 3.55	± 3.80	± 3.87
1,000	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
800	± 3.00	± 4.00	± 4.58	± 4.90	± 5.00
600	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
400	± 4.24	± 5.66	± 6.48	± 6.93	± 7.07
100	± 8.49	± 11.31	± 12.96	± 13.86	± 14.14

(注)  $N$  は  $n$  より非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$  とみなせるので、 $\frac{N-n}{N-1} = 1$  として計算した。

## 9 回答者の属性

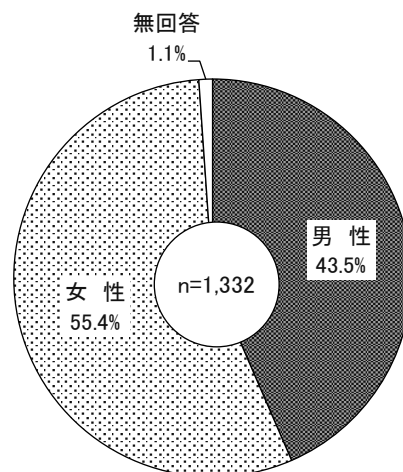
[ 地区別 ]

	基数	構成比
1 I地区 (〒176)	302	22.7%
2 II地区 (〒177)	390	29.3%
3 III地区 (〒178)	243	18.2%
4 IV地区 (〒179)	369	27.7%
無回答	28	2.1%
合計	1,332	100.0%



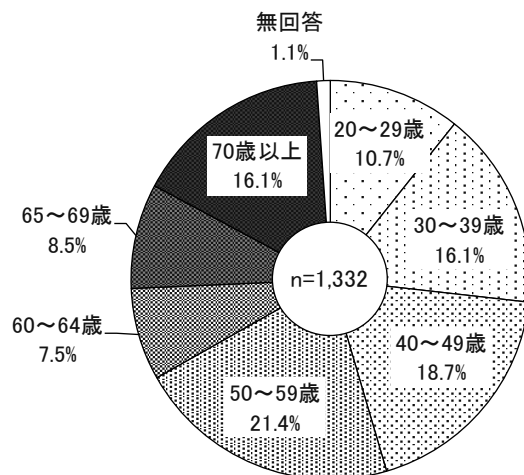
[ 性別 ]

	基数	構成比
1 男性	579	43.5%
2 女性	738	55.4%
無回答	15	1.1%
合計	1,332	100.0%



[ 年齢別 ]

	基 数	構 成 比
1 20～29歳	142	10.7%
2 30～39歳	215	16.1%
3 40～49歳	249	18.7%
4 50～59歳	285	21.4%
5 60～64歳	100	7.5%
6 65～69歳	113	8.5%
7 70歳以上	214	16.1%
無回答	14	1.1%
合 計	1,332	100.0%



《 地区別 》

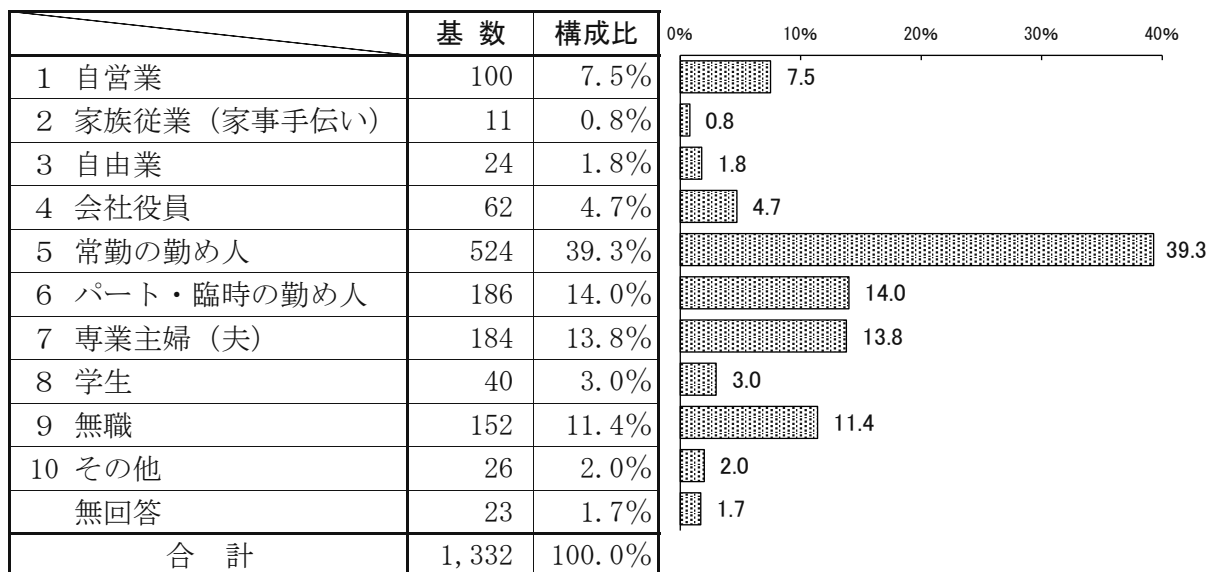
	基 数	男 性 (計)								女 性 (計)								(性別無回答)
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	(年齢無回答)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	(年齢無回答)			
全 体	1,332	43.5	3.8	5.9	8.7	10.4	7.9	6.8	-	55.4	6.8	10.3	10.0	10.9	8.1	9.2	0.1	1.1
I地区 (〒176)	302	45.0	3.6	7.9	10.3	10.6	7.9	4.6	-	55.0	7.6	11.9	8.6	9.6	6.6	10.3	0.3	-
II地区 (〒177)	390	44.9	3.6	4.9	9.5	11.5	9.5	5.9	-	54.6	6.7	9.2	11.3	10.5	8.5	8.5	-	0.5
III地区 (〒178)	243	39.1	3.3	4.9	7.4	11.9	6.6	4.9	-	59.7	7.0	12.3	9.5	11.5	7.8	11.5	-	1.2
IV地区 (〒179)	369	43.6	4.9	6.0	7.3	8.1	7.6	9.8	-	54.2	6.5	8.7	10.0	11.9	9.2	7.9	-	2.2
(地区無回答)	28	42.9	-	3.6	10.7	10.7	-	17.9	-	50.0	3.6	10.7	10.7	10.7	7.1	7.1	-	7.1

<参考>性・年齢別の母集団との比較

		計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	(年齢無回答)
男 性	母 集 団	48.0	7.5	8.2	9.3	8.7	5.9	8.4	-
	調 査 結 果	43.5	3.8	5.9	8.7	10.4	7.9	6.8	-
女 性	母 集 団	52.0	8.1	8.3	9.2	8.5	5.9	12.0	-
	調 査 結 果	55.4	6.8	10.3	10.0	10.9	8.1	9.2	0.1
(性別無回答)		1.1	-	-	-	0.1	-	0.1	1.0



[ 職業別 ]

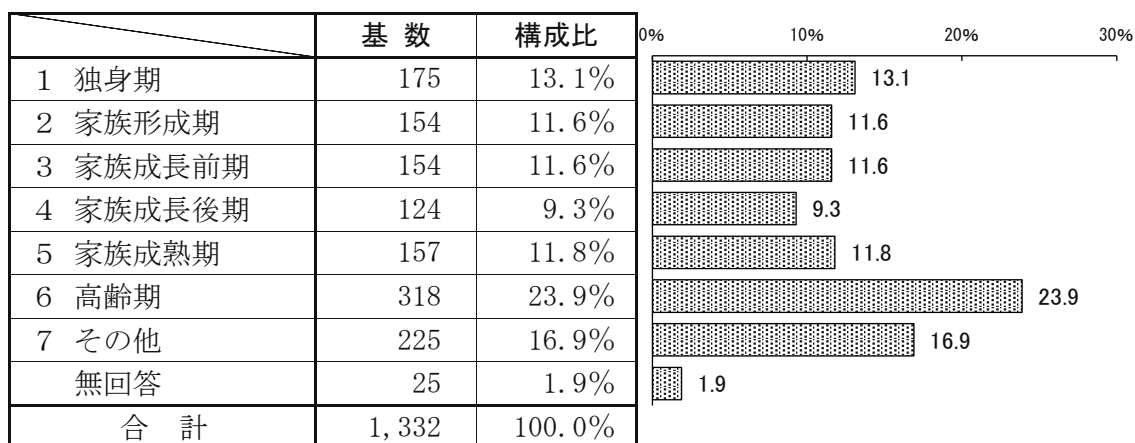


《 地区別 》

	n	自営業 (計)				勤め人 (計)				無職 (計)					無回答
		自営業	家族従業 (家事手伝い)	自由業	会社役員	常勤の勤め人	パート・臨時の勤め人	専業主婦 (夫)	学生	無職	その他				
全 体	1,332	10.1	7.5	0.8	1.8	58.0	4.7	39.3	14.0	30.2	13.8	3.0	11.4	2.0	1.7
I 地区 (〒176)	302	9.3	7.6	0.3	1.3	66.2	5.6	48.7	11.9	24.2	9.6	1.7	10.6	2.3	0.3
II 地区 (〒177)	390	9.7	5.6	1.0	3.1	59.0	4.4	39.7	14.9	30.5	13.8	3.8	11.0	1.8	0.8
III 地区 (〒178)	243	12.3	10.3	0.4	1.6	48.6	6.6	29.2	12.8	36.6	20.6	2.9	11.1	2.1	2.5
IV 地区 (〒179)	369	9.8	7.3	1.4	1.1	56.6	2.7	38.2	15.7	31.2	13.3	3.5	12.5	1.9	2.4
(地区無回答)	28	10.7	10.7	-	-	53.6	7.1	35.7	10.7	21.4	7.1	-	14.3	-	14.3

(注) 自営業 (計) は、自営業、家族従業 (家事手伝い)、自由業を合わせたもの  
 勤め人 (計) は、会社役員、常勤の勤め人、パート・臨時の勤め人を合わせたもの  
 無 職 (計) は、専業主婦 (夫)、学生、無職、その他を合わせたもの

[ ライフステージ別 ]



《 地区別 》

(%)

	n	独身期	家族形成期	家族成長前期	家族成長後期	家族成熟期	高齢期	その他	無回答
全 体	1,332	13.1	11.6	11.6	9.3	11.8	23.9	16.9	1.9
I 地区 (〒176)	302	13.9	17.5	8.9	7.3	9.9	22.2	20.2	-
II 地区 (〒177)	390	14.6	8.2	12.1	9.5	12.6	23.1	19.2	0.8
III 地区 (〒178)	243	11.1	10.3	16.9	10.3	14.8	23.5	11.1	2.1
IV 地区 (〒179)	369	13.0	11.4	10.0	10.3	11.1	26.0	15.2	3.0
(地区無回答)	28	3.6	7.1	7.1	7.1	3.6	28.6	21.4	21.4

(注) ライフステージは、次のような定義に基づいて区分した。

- 1 独身期 …………… 40歳未満の独身者
- 2 家族形成期 …………… 40歳未満の子どもがいない夫婦  
または一番上の子どもが小学校入学前の人
- 3 家族成長前期 …………… 一番上の子どもが小・中学生の人
- 4 家族成長後期 …………… 一番上の子どもが高校・大学生の人
- 5 家族成熟期 …………… 64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
- 6 高齢期 …………… 65歳以上の人
- 7 その他 …………… 40～64歳の独身者、40～64歳の子どもがいない夫婦など

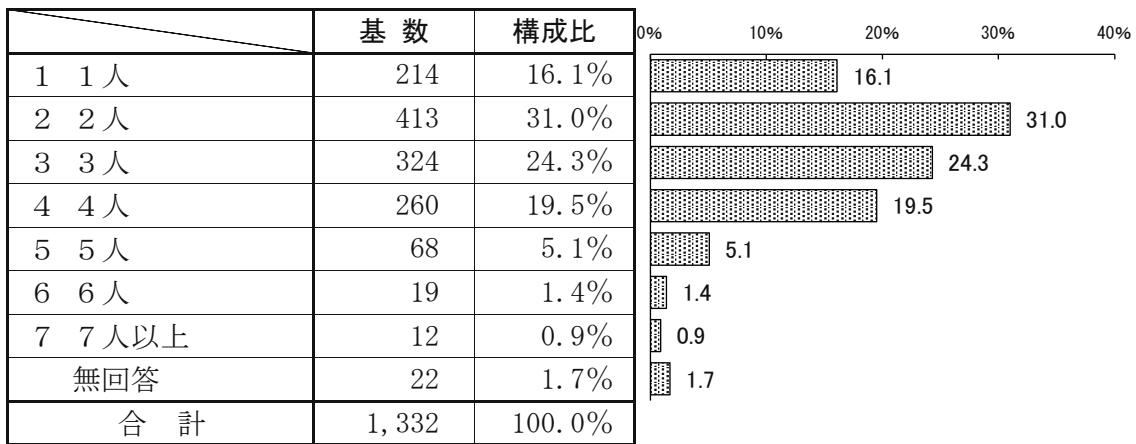
[ 家族構成別 ]

	基 数	構成比	
1 夫婦のみ（一世代家族）	307	23.0%	23.0
2 親と未婚の子ども	646	48.5%	48.5
3 親と子ども夫婦（二世代家族）	40	3.0%	3.0
4 親と子どもと孫（三世代家族）	57	4.3%	4.3
5 ひとりぐらし	214	16.1%	16.1
6 その他	38	2.9%	2.9
無回答	30	2.3%	2.3
合 計	1,332	100.0%	

《 地区別 》

	n	夫 婦 の み （ 一 世 代 家 族 ）	親 と 未 婚 の 子 ど も	親 と 子 ど も 夫 婦 （ 二 世 代 家 族 ）	親 と 子 ど も と 孫 （ 三 世 代 家 族 ）	ひ と り ぐ ら し	そ の 他	無 回 答
全 体	1,332	23.0	48.5	3.0	4.3	16.1	2.9	2.3
I 地区（〒176）	302	24.5	40.4	2.3	3.0	25.2	3.6	1.0
II 地区（〒177）	390	23.3	50.8	3.8	3.8	14.4	2.8	1.0
III 地区（〒178）	243	18.1	56.4	3.3	7.4	11.9	2.1	0.8
IV 地区（〒179）	369	26.0	49.1	2.4	3.8	14.4	3.0	1.4
（地区無回答）	28	7.1	28.6	3.6	3.6	0.0	0.0	57.1

[ 家族人数別 ]



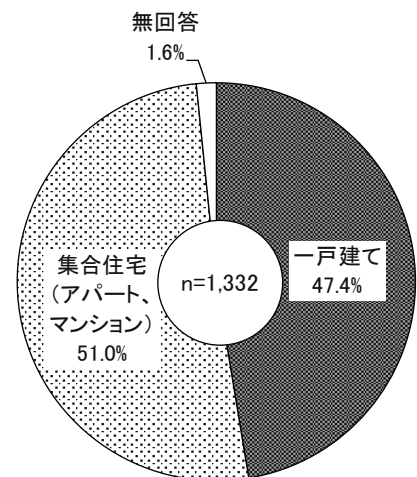
《 地区別 》

(%)

	n	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
全体	1,332	16.1	31.0	24.3	19.5	5.1	1.4	0.9	1.7
I地区 (〒176)	302	25.2	32.8	20.9	14.6	4.6	1.3	0.7	-
II地区 (〒177)	390	14.4	33.8	23.8	20.0	4.1	2.1	1.3	0.5
III地区 (〒178)	243	11.9	21.8	30.0	25.9	6.6	1.6	1.6	0.4
IV地区 (〒179)	369	14.4	34.1	24.9	18.7	6.0	0.5	0.3	1.1
(地区無回答)	28	0.0	10.7	10.7	21.4	0.0	3.6	0.0	53.6

[ 住居形態別 ]

	基数	構成比
1 一戸建て	632	47.4%
2 集合住宅 (アパート、マンション)	679	51.0%
無回答	21	1.6%
合計	1,332	100.0%

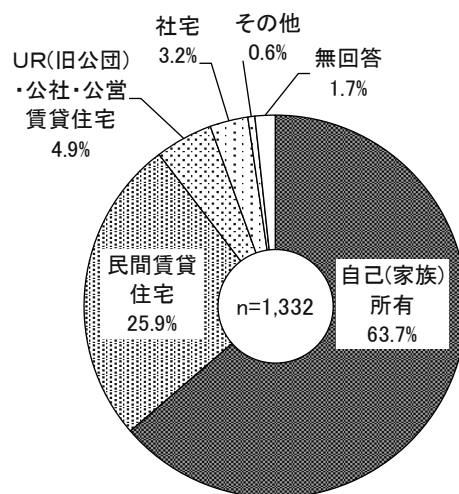


《 地区別 》 ( % )

	n	一戸建て	集合住宅	無回答
全体	1,332	47.4	51.0	1.6
I地区 (〒176)	302	36.8	62.6	0.7
II地区 (〒177)	390	46.4	53.3	0.3
III地区 (〒178)	243	69.5	30.0	0.4
IV地区 (〒179)	369	44.7	54.7	0.5
(地区無回答)	28	21.4	25.0	53.6

[ 住居所有形態別 ]

	基数	構成比
1 自己(家族)所有	849	63.7%
2 民間賃貸住宅	345	25.9%
3 UR(旧公団)・公社・公営賃貸住宅	65	4.9%
4 社宅	42	3.2%
5 その他	8	0.6%
無回答	23	1.7%
合計	1,332	100.0%

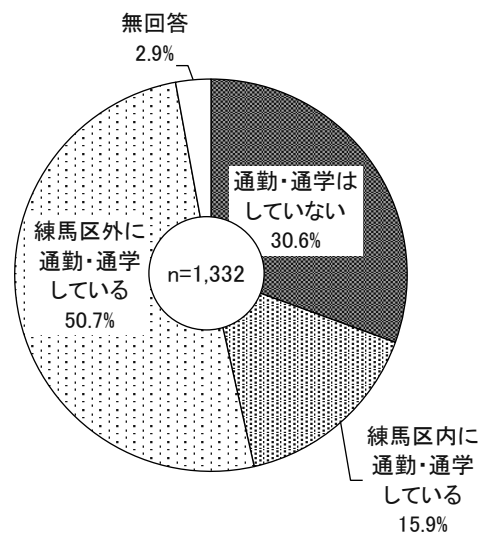


《 地区別 》 ( % )

	n	自己(家族)所有	民間賃貸住宅	UR公社(旧公団)・公営賃貸住宅	社宅	その他	無回答
全体	1,332	63.7	25.9	4.9	3.2	0.6	1.7
I地区 (〒176)	302	57.0	37.4	1.7	3.3	0.3	0.3
II地区 (〒177)	390	68.2	25.9	1.0	3.8	0.8	0.3
III地区 (〒178)	243	78.2	18.1	2.5	0.4	-	0.8
IV地区 (〒179)	369	58.3	22.8	12.7	4.3	1.1	0.8
(地区無回答)	28	21.4	10.7	10.7	-	-	57.1

[ 通勤・通学場所別 ]

	基 数	構 成 比
1 通勤・通学はしていない	407	30.6%
2 練馬区内に通勤・通学している	212	15.9%
3 練馬区外に通勤・通学している	675	50.7%
無回答	38	2.9%
合 計	1,332	100.0%



《 地区別 》

(%)

	n	い 通 勤 ・ 通 学 は し て い な い	通 練 学 馬 区 内 に い る 通 勤 ・ 通 学	通 練 学 馬 区 外 に い る 通 勤 ・ 通 学	無 回 答
全 体	1,332	30.6	15.9	50.7	2.9
I 地区 (〒176)	302	25.5	12.9	58.6	3.0
II 地区 (〒177)	390	29.7	16.7	52.3	1.3
III 地区 (〒178)	243	38.3	19.3	40.3	2.1
IV 地区 (〒179)	369	31.2	15.4	51.8	1.6
(地区無回答)	28	21.4	14.3	17.9	46.4